

商業出版ってどうなってるの？

最終製品としての書籍は誰もがご存じだと思います。しかし、意外と知られていないのが、それを作っている「出版社」の仕事。「そんなの原稿集めて刷ってるだけじゃない」と思われるかもしれませんが、そう単純ではないのですよ。本稿では、あまり知られていない書籍が作られるまでの過程をざっくりと紹介していきたいと思います。

ソシム株式会社（出版社）

出版社は何をすることか？

私たちの会社、ソシムはIT、デザイン、ビジネス、実用書などを発行している出版社です。

出版社といっても、一般の人は「ああ、本を作って売る会社なんだ」というぐらいの認識ではないでしょうか（もちろん、書籍を執筆された方はよくご存じでしょう）。

もちろんそれは間違いではありません。ただ、一口に「本を作って売る」仕事のやり方は出版社によってけっこう違います。細かく見ていけば、出版社ごとに違うといってもいいかもしれません。そうはいっても、ある程度共通の枠組みはあります。大きく分けると以下のような感じでしょうか。

1. 企画立案
2. 執筆
3. 編集・制作
4. 印刷
5. 販売

これらをすべて自社内で行う出版社もありますし、執筆と印刷は外部にお願いし、あとは自社で処理するというのがひとつの典型かもしれません。

なぜそのように多様なやり方があるかというと、出版業界はわりと古くから業務や作業の外注化が盛んだったからです。上記の1～5すべてに、請け負う会社なりフリーランスの人なりが存在します。

1～5までの項目で、あまり知られていないのが3だと思います。原稿ができあがってから、紙面（誌面）を作る過程なのですが、ここが出版社のキモであると考えてるのは、この稿を書いているのが編集担当であるからです。

さて、3はさらに細かく分けることができます。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ① 3-a 紙面レイアウトの発注 | ② 3-b 原稿チェック（原稿整理） |
| ③ 3-c 図・イラスト・写真などの手配 | ④ 3-d 組み版（DTP制作） |
| ⑤ 3-e 校正←→修正 | |

具体例を見てみよう

概略がわかったところで、どのように物事が進行するのか、具体例を示してみよう。

以下、ソシムで実際に出版されている書籍について、企画時から発刊までの流れを見てみましょう。

CASE:1

著者：クジラ飛行機
発行：2023年1月
頁数：480頁



編集担当

某K

すきなたべ物

ラムのピリヤニ

Python+JSON データ活用の奥義

● 1-a 企画のきっかけ

この企画は編集担当が「CSV データって使いにくい？」と思ったことが発端です。編集担当はプログラマーではありませんが、販売データをエクセルで処理したり、Web サイトへのデータアップロード・ダウンロードなどで CSV 形式のデータを扱うことがよくありました。ただ、CSV というのはご存じのようばカンマで区切っただけのデータです。JavaScript や Python の書籍はなんども作っていたので、もっと構造的なデータ形式 (= JSON) の存在は知っていました。そこで「JSON がもっと使われるように書籍があればいいんじゃない？」と思い立ったのです。SNS で調べたり、国内外の書籍の状況を調べたりして、「これはいけそう」と思い、筆者であるクジラ飛行機さんに持ちかけたわけです（ここからも紆余曲折あるのですが長くなるので割愛します）。

● 1-b 企画を通すために工夫したところ

まずは、著者と意見交換を行い、面白そうとの返答を受けたので、打ち合わせを行いました。「どのような例をとりあえげるか」、「対象読者は?」、「ページ数は?」、「プログラム言語はどうする?」などを詰めていきます。このあたり、著者にもよるのですが、クジラ飛行機さんとは何度も仕事をさせていただいているので、事前にメールで1回、直接お会いして1回、できあがった目次案（構成案）を元にもう1回の合計3回の打ち合わせで、おおざっぱな内容がきまりました。

編集担当はこれをもとに社内の企画書をつくります。書籍の仕様（ページ数、使用する紙の種類、印刷色、印刷部数など）を仮に決め、定価や制作にかかる費用などを算出し、企画提案を行うわけです。

同時に、この企画を通すために、いろいろ調べます。会社の販売・営業を説得しなくてはなりません。類書があると説明はしやすいのですが、今回は類書がまったく無かったので、データ分析や Web 担当者などがターゲットであることを説明しました。公共データで JSON を出すケースが増えていることなども補強材料になると考えました。余談ですが、編集担当は類書の存在しない本が好きなので、「世界で初めて」「日本で初めて」の書籍を好みます。いままでにネットスケープ、BIOS、(PC の) ジャックなどを扱ってきました。

さて、こうして企画を上げ、若干曲折はあったものの、無事通過しました。

これをもって正式に執筆依頼を行いました。

目次

【全 書】	発行日 2022/06/22 発行者 某A
<書名>	データが送る！見える！使える！ Python3/JSON データ活用の奥義
<予定価格>	3000 円
<仕様>	B5 変形/縦組み/A5/200ページ
<著者等>	タジツタ発行
<無料予定日>	2022 年 12 月
<企画主旨>	JSON (JavaScript Object Notation) は、その記述方法を利用した数あるデータベースの代 替として JS で使われていたが、その利便性から他の記述などにも広がり、現在では CSV を置き換えるフォーマットとしても利用されている。 本書は JSON の基礎から、書で使われている公共データ、オープンデータフォーマットや データそのものの扱い、さらには自身で JSON のデータベースを作る例など、JSON を利用するための各種テクニックを紹介していくものである。
<読者ターゲット>	・SQL を使わずともデータ操作の簡便に魅了されたプログラマー ・オープンデータを効率よく使いたい、活用したいエンジニア ・OS などのデータと社内のデータを連携したい Web 管理者
<セールスポイント>	・紹介表がない ・JSON の基礎から、公共データの活用、データの可視化などもりどころ ・既に既存データ (公共データなど) を使いたい人にも ・読者
<競合本との差別化>	JSON というくくりでの解説はない。 □□□□ではないが、□□□□あたりのデータベース書籍、オープンデータという点では スタイルシートとデータベースの書籍がかる部分はあるが、いずれも□□□□はな ないで競合しないものと思われる

目次構成案

Python + JSON データ活用の奥義	
はじめに	・はじめに ・Template ・Graphviz サンプル
1章 JSON とオープンデータと Web API	・1章の目 ・1.1 JSON 概論 - JSON と 10 行プログラムでグラフ ・1.2 オープンデータについて - 人の集まるグラフを構築しよう ・1.3 JSON と CSV の比較 - 集まる集まるグラフで構築 ・1.4 Web API を利用してアンケートをグラフで構築 ・1.5 JSON は何の言語について ・1.6 JSON の文法について ・1.7 JSON の文法はプログラマーと読者の両方 ・1.8 JSON を拡張した JSON 拡張フォーマットについて
TODO: プログラムの解説をもっと簡潔に書く	
2章 - データベースとしての JSON	・2章の目 ・ゲームデータベース JSON で保存して分析しよう
	・JSON の書き方と REST API (URL + GUID) ・利便性のオーダーを QR コードで実行しよう ・整理する QR コードを身分証と使うメソッド - ユニークな QR コードの生成

2. 執筆

執筆は、それこそ著者の数だけやり方があるといっても過言ではありません。

今回の JSON 本の場合、クジラ飛行機さんは Wiki (自作の Wiki=KonaWiki) で執筆状況をやりとりしました。実際の執筆はエディターで書いているそうですが、画面などを貼り付けながら確認するので、マークダウン (MD) で簡単なレイアウトなどを行ってアップロードしているそうです。自作 Wiki なので、執筆が終わった章 (チャプター) ごとに、ダウンロードしてくれる機能などもあり、編集サイドとしても助かっています。

執筆中の Wiki 画面

【手順1】Graphvizをインストールしよう

最初に、ネットワーク構造のグラフを作成するために「Graphviz」というツールをインストールしましょう。ターミナルを開いて、以下のコマンドを実行しましょう。これは、Pythonのパッケージ「graphviz」をインストールするものです。

```
pip install --user graphviz
```


しかし、上記のコマンドでインストールしたパッケージだけでは、Graphvizを動かすことができません。別途Graphvizアプリをインストールする必要があります。

【Windowsの場合】

Windowsであれば、Graphvizのサイトからダウンロードしてインストールしましょう。


Graphviz
[URL] <https://graphviz.gitlab.io/download/>

上記のダウンロードサイトは英語なのですが、Windows > graphviz-5.0.0 と書かれている部分の「EXE Installer」をクリックし、32-bit/64-bit を選んでダウンロードしましょう。



Graphvizのダウンロードページ

なお、ダウンロードしたインストーラーを実行すると、Windows Defenderによる警告画面が出るので「詳細情報」をクリックし、その後「実行」ボタンを押しましょう。



```

1  graph LR
2      A["parents"] -- "親子関係 (1対1)" --> B["children"]
3      B -- "親子関係 (1対1)" --> A
4      A -- "親子関係 (1対1)" --> C["children"]
5      C -- "親子関係 (1対1)" --> A
6      A -- "親子関係 (1対1)" --> D["children"]
7      D -- "親子関係 (1対1)" --> A
8      A -- "親子関係 (1対1)" --> E["children"]
9      E -- "親子関係 (1対1)" --> A
10     A -- "親子関係 (1対1)" --> F["children"]
11     F -- "親子関係 (1対1)" --> A
12     A -- "親子関係 (1対1)" --> G["children"]
13     G -- "親子関係 (1対1)" --> A
14     A -- "親子関係 (1対1)" --> H["children"]
15     H -- "親子関係 (1対1)" --> A
16     A -- "親子関係 (1対1)" --> I["children"]
17     I -- "親子関係 (1対1)" --> A
18     A -- "親子関係 (1対1)" --> J["children"]
19     J -- "親子関係 (1対1)" --> A
20     A -- "親子関係 (1対1)" --> K["children"]
21     K -- "親子関係 (1対1)" --> A
22     A -- "親子関係 (1対1)" --> L["children"]
23     L -- "親子関係 (1対1)" --> A
24     A -- "親子関係 (1対1)" --> M["children"]
25     M -- "親子関係 (1対1)" --> A
26     A -- "親子関係 (1対1)" --> N["children"]
27     N -- "親子関係 (1対1)" --> A
28     A -- "親子関係 (1対1)" --> O["children"]
29     O -- "親子関係 (1対1)" --> A
30     A -- "親子関係 (1対1)" --> P["children"]
31     P -- "親子関係 (1対1)" --> A
32     A -- "親子関係 (1対1)" --> Q["children"]
33     Q -- "親子関係 (1対1)" --> A
34     A -- "親子関係 (1対1)" --> R["children"]
35     R -- "親子関係 (1対1)" --> A
36     A -- "親子関係 (1対1)" --> S["children"]
37     S -- "親子関係 (1対1)" --> A
38     A -- "親子関係 (1対1)" --> T["children"]
39     T -- "親子関係 (1対1)" --> A
40     A -- "親子関係 (1対1)" --> U["children"]
41     U -- "親子関係 (1対1)" --> A
42     A -- "親子関係 (1対1)" --> V["children"]
43     V -- "親子関係 (1対1)" --> A
44     A -- "親子関係 (1対1)" --> W["children"]
45     W -- "親子関係 (1対1)" --> A
46     A -- "親子関係 (1対1)" --> X["children"]
47     X -- "親子関係 (1対1)" --> A
48     A -- "親子関係 (1対1)" --> Y["children"]
49     Y -- "親子関係 (1対1)" --> A
50     A -- "親子関係 (1対1)" --> Z["children"]
51     Z -- "親子関係 (1対1)" --> A
52     A -- "親子関係 (1対1)" --> AA["children"]
53     AA -- "親子関係 (1対1)" --> A
54     A -- "親子関係 (1対1)" --> AB["children"]
55     AB -- "親子関係 (1対1)" --> A
56     A -- "親子関係 (1対1)" --> AC["children"]
57     AC -- "親子関係 (1対1)" --> A
58     A -- "親子関係 (1対1)" --> AD["children"]
59     AD -- "親子関係 (1対1)" --> A
60     A -- "親子関係 (1対1)" --> AE["children"]
61     AE -- "親子関係 (1対1)" --> A
62     A -- "親子関係 (1対1)" --> AF["children"]
63     AF -- "親子関係 (1対1)" --> A
64     A -- "親子関係 (1対1)" --> AG["children"]
65     AG -- "親子関係 (1対1)" --> A
66     A -- "親子関係 (1対1)" --> AH["children"]
67     AH -- "親子関係 (1対1)" --> A
68     A -- "親子関係 (1対1)" --> AI["children"]
69     AI -- "親子関係 (1対1)" --> A
70     A -- "親子関係 (1対1)" --> AJ["children"]
71     AJ -- "親子関係 (1対1)" --> A
72     A -- "親子関係 (1対1)" --> AK["children"]
73     AK -- "親子関係 (1対1)" --> A
74     A -- "親子関係 (1対1)" --> AL["children"]
75     AL -- "親子関係 (1対1)" --> A
76     A -- "親子関係 (1対1)" --> AM["children"]
77     AM -- "親子関係 (1対1)" --> A
78     A -- "親子関係 (1対1)" --> AN["children"]
79     AN -- "親子関係 (1対1)" --> A
80     A -- "親子関係 (1対1)" --> AO["children"]
81     AO -- "親子関係 (1対1)" --> A
82     A -- "親子関係 (1対1)" --> AP["children"]
83     AP -- "親子関係 (1対1)" --> A
84     A -- "親子関係 (1対1)" --> AQ["children"]
85     AQ -- "親子関係 (1対1)" --> A
86     A -- "親子関係 (1対1)" --> AR["children"]
87     AR -- "親子関係 (1対1)" --> A
88     A -- "親子関係 (1対1)" --> AS["children"]
89     AS -- "親子関係 (1対1)" --> A
90     A -- "親子関係 (1対1)" --> AT["children"]
91     AT -- "親子関係 (1対1)" --> A
92     A -- "親子関係 (1対1)" --> AU["children"]
93     AU -- "親子関係 (1対1)" --> A
94     A -- "親子関係 (1対1)" --> AV["children"]
95     AV -- "親子関係 (1対1)" --> A
96     A -- "親子関係 (1対1)" --> AW["children"]
97     AW -- "親子関係 (1対1)" --> A
98     A -- "親子関係 (1対1)" --> AX["children"]
99     AX -- "親子関係 (1対1)" --> A
100    A -- "親子関係 (1対1)" --> AY["children"]
101    AY -- "親子関係 (1対1)" --> A
102    A -- "親子関係 (1対1)" --> AZ["children"]
103    AZ -- "親子関係 (1対1)" --> A
104    A -- "親子関係 (1対1)" --> BA["children"]
105    BA -- "親子関係 (1対1)" --> A
106    A -- "親子関係 (1対1)" --> BB["children"]
107    BB -- "親子関係 (1対1)" --> A
108    A -- "親子関係 (1対1)" --> BC["children"]
109    BC -- "親子関係 (1対1)" --> A
110    A -- "親子関係 (1対1)" --> BD["children"]
111    BD -- "親子関係 (1対1)" --> A
112    A -- "親子関係 (1対1)" --> BE["children"]
113    BE -- "親子関係 (1対1)" --> A
114    A -- "親子関係 (1対1)" --> BF["children"]
115    BF -- "親子関係 (1対1)" --> A
116    A -- "親子関係 (1対1)" --> BG["children"]
117    BG -- "親子関係 (1対1)" --> A
118    A -- "親子関係 (1対1)" --> BH["children"]
119    BH -- "親子関係 (1対1)" --> A
120    A -- "親子関係 (1対1)" --> BI["children"]
121    BI -- "親子関係 (1対1)" --> A
122    A -- "親子関係 (1対1)" --> BJ["children"]
123    BJ -- "親子関係 (1対1)" --> A
124    A -- "親子関係 (1対1)" --> BK["children"]
125    BK -- "親子関係 (1対1)" --> A
126    A -- "親子関係 (1対1)" --> BL["children"]
127    BL -- "親子関係 (1対1)" --> A
128    A -- "親子関係 (1対1)" --> BM["children"]
129    BM -- "親子関係 (1対1)" --> A
130    A -- "親子関係 (1対1)" --> BN["children"]
131    BN -- "親子関係 (1対1)" --> A
132    A -- "親子関係 (1対1)" --> BO["children"]
133    BO -- "親子関係 (1対1)" --> A
134    A -- "親子関係 (1対1)" --> BP["children"]
135    BP -- "親子関係 (1対1)" --> A
136    A -- "親子関係 (1対1)" --> BQ["children"]
137    BQ -- "親子関係 (1対1)" --> A
138    A -- "親子関係 (1対1)" --> BR["children"]
139    BR -- "親子関係 (1対1)" --> A
140    A -- "親子関係 (1対1)" --> BS["children"]
141    BS -- "親子関係 (1対1)" --> A
142    A -- "親子関係 (1対1)" --> BT["children"]
143    BT -- "親子関係 (1対1)" --> A
144    A -- "親子関係 (1対1)" --> BU["children"]
145    BU -- "親子関係 (1対1)" --> A
146    A -- "親子関係 (1対1)" --> BV["children"]
147    BV -- "親子関係 (1対1)" --> A
148    A -- "親子関係 (1対1)" --> BW["children"]
149    BW -- "親子関係 (1対1)" --> A
150    A -- "親子関係 (1対1)" --> BX["children"]
151    BX -- "親子関係 (1対1)" --> A
152    A -- "親子関係 (1対1)" --> BY["children"]
153    BY -- "親子関係 (1対1)" --> A
154    A -- "親子関係 (1対1)" --> BZ["children"]
155    BZ -- "親子関係 (1対1)" --> A
156    A -- "親子関係 (1対1)" --> CA["children"]
157    CA -- "親子関係 (1対1)" --> A
158    A -- "親子関係 (1対1)" --> CB["children"]
159    CB -- "親子関係 (1対1)" --> A
160    A -- "親子関係 (1対1)" --> CC["children"]
161    CC -- "親子関係 (1対1)" --> A
162    A -- "親子関係 (1対1)" --> CD["children"]
163    CD -- "親子関係 (1対1)" --> A
164    A -- "親子関係 (1対1)" --> CE["children"]
165    CE -- "親子関係 (1対1)" --> A
166    A -- "親子関係 (1対1)" --> CF["children"]
167    CF -- "親子関係 (1対1)" --> A
168    A -- "親子関係 (1対1)" --> CG["children"]
169    CG -- "親子関係 (1対1)" --> A
170    A -- "親子関係 (1対1)" --> CH["children"]
171    CH -- "親子関係 (1対1)" --> A
172    A -- "親子関係 (1対1)" --> CI["children"]
173    CI -- "親子関係 (1対1)" --> A
174    A -- "親子関係 (1対1)" --> CJ["children"]
175    CJ -- "親子関係 (1対1)" --> A
176    A -- "親子関係 (1対1)" --> CK["children"]
177    CK -- "親子関係 (1対1)" --> A
178    A -- "親子関係 (1対1)" --> CL["children"]
179    CL -- "親子関係 (1対1)" --> A
180    A -- "親子関係 (1対1)" --> CM["children"]
181    CM -- "親子関係 (1対1)" --> A
182    A -- "親子関係 (1対1)" --> CN["children"]
183    CN -- "親子関係 (1対1)" --> A
184    A -- "親子関係 (1対1)" --> CO["children"]
185    CO -- "親子関係 (1対1)" --> A
186    A -- "親子関係 (1対1)" --> CP["children"]
187    CP -- "親子関係 (1対1)" --> A
188    A -- "親子関係 (1対1)" --> CQ["children"]
189    CQ -- "親子関係 (1対1)" --> A
190    A -- "親子関係 (1対1)" --> CR["children"]
191    CR -- "親子関係 (1対1)" --> A
192    A -- "親子関係 (1対1)" --> CS["children"]
193    CS -- "親子関係 (1対1)" --> A
194    A -- "親子関係 (1対1)" --> CT["children"]
195    CT -- "親子関係 (1対1)" --> A
196    A -- "親子関係 (1対1)" --> CU["children"]
197    CU -- "親子関係 (1対1)" --> A
198    A -- "親子関係 (1対1)" --> CV["children"]
199    CV -- "親子関係 (1対1)" --> A
200    A -- "親子関係 (1対1)" --> CW["children"]
201    CW -- "親子関係 (1対1)" --> A
202    A -- "親子関係 (1対1)" --> CX["children"]
203    CX -- "親子関係 (1対1)" --> A
204    A -- "親子関係 (1対1)" --> CY["children"]
205    CY -- "親子関係 (1対1)" --> A
206    A -- "親子関係 (1対1)" --> CZ["children"]
207    CZ -- "親子関係 (1対1)" --> A
208    A -- "親子関係 (1対1)" --> DA["children"]
209    DA -- "親子関係 (1対1)" --> A
210    A -- "親子関係 (1対1)" --> DB["children"]
211    DB -- "親子関係 (1対1)" --> A
212    A -- "親子関係 (1対1)" --> DC["children"]
213    DC -- "親子関係 (1対1)" --> A
214    A -- "親子関係 (1対1)" --> DD["children"]
215    DD -- "親子関係 (1対1)" --> A
216    A -- "親子関係 (1対1)" --> DE["children"]
217    DE -- "親子関係 (1対1)" --> A
218    A -- "親子関係 (1対1)" --> DF["children"]
219    DF -- "親子関係 (1対1)" --> A
220    A -- "親子関係 (1対1)" --> DG["children"]
221    DG -- "親子関係 (1対1)" --> A
222    A -- "親子関係 (1対1)" --> DH["children"]
223    DH -- "親子関係 (1対1)" --> A
224    A -- "親子関係 (1対1)" --> DI["children"]
225    DI -- "親子関係 (1対1)" --> A
226    A -- "親子関係 (1対1)" --> DJ["children"]
227    DJ -- "親子関係 (1対1)" --> A
228    A -- "親子関係 (1対1)" --> DK["children"]
229    DK -- "親子関係 (1対1)" --> A
230    A -- "親子関係 (1対1)" --> DL["children"]
231    DL -- "親子関係 (1対1)" --> A
232    A -- "親子関係 (1対1)" --> DM["children"]
233    DM -- "親子関係 (1対1)" --> A
234    A -- "親子関係 (1対1)" --> DN["children"]
235    DN -- "親子関係 (1対1)" --> A
236    A -- "親子関係 (1対1)" --> DO["children"]
237    DO -- "親子関係 (1対1)" --> A
238    A -- "親子関係 (1対1)" --> DP["children"]
239    DP -- "親子関係 (1対1)" --> A
240    A -- "親子関係 (1対1)" --> DQ["children"]
241    DQ -- "親子関係 (1対1)" --> A
242    A -- "親子関係 (1対1)" --> DR["children"]
243    DR -- "親子関係 (1対1)" --> A
244    A -- "親子関係 (1対1)" --> DS["children"]
245    DS -- "親子関係 (1対1)" --> A
246    A -- "親子関係 (1対1)" --> DT["children"]
247    DT -- "親子関係 (1対1)" --> A
248    A -- "親子関係 (1対1)" --> DU["children"]
249    DU -- "親子関係 (1対1)" --> A
250    A -- "親子関係 (1対1)" --> DV["children"]
251    DV -- "親子関係 (1対1)" --> A
252    A -- "親子関係 (1対1)" --> DW["children"]
253    DW -- "親子関係 (1対1)" --> A
254    A -- "親子関係 (1対1)" --> DX["children"]
255    DX -- "親子関係 (1対1)" --> A
256    A -- "親子関係 (1対1)" --> DY["children"]
257    DY -- "親子関係 (1対1)" --> A
258    A -- "親子関係 (1対1)" --> DZ["children"]
259    DZ -- "親子関係 (1対1)" --> A
260    A -- "親子関係 (1対1)" --> EA["children"]
261    EA -- "親子関係 (1対1)" --> A
262    A -- "親子関係 (1対1)" --> EB["children"]
263    EB -- "親子関係 (1対1)" --> A
264    A -- "親子関係 (1対1)" --> EC["children"]
265    EC -- "親子関係 (1対1)" --> A
266    A -- "親子関係 (1対1)" --> ED["children"]
267    ED -- "親子関係 (1対1)" --> A
268    A -- "親子関係 (1対1)" --> EE["children"]
269    EE -- "親子関係 (1対1)" --> A
270    A -- "親子関係 (1対1)" --> EF["children"]
271    EF -- "親子関係 (1対1)" --> A
272    A -- "親子関係 (1対1)" --> EG["children"]
273    EG -- "親子関係 (1対1)" --> A
274    A -- "親子関係 (1対1)" --> EH["children"]
275    EH -- "親子関係 (1対1)" --> A
276    A -- "親子関係 (1対1)" --> EI["children"]
277    EI -- "親子関係 (1対1)" --> A
278    A -- "親子関係 (1対1)" --> EJ["children"]
279    EJ -- "親子関係 (1対1)" --> A
280    A -- "親子関係 (1対1)" --> EK["children"]
281    EK -- "親子関係 (1対1)" --> A
282    A -- "親子関係 (1対1)" --> EL["children"]
283    EL -- "親子関係 (1対1)" --> A
284    A -- "親子関係 (1対1)" --> EM["children"]
285    EM -- "親子関係 (1対1)" --> A
286    A -- "親子関係 (1対1)" --> EN["children"]
287    EN -- "親子関係 (1対1)" --> A
288    A -- "親子関係 (1対1)" --> EO["children"]
289    EO -- "親子関係 (1対1)" --> A
290    A -- "親子関係 (1対1)" --> EP["children"]
291    EP -- "親子関係 (1対1)" --> A
292    A -- "親子関係 (1対1)" --> EQ["children"]
293    EQ -- "親子関係 (1対1)" --> A
294    A -- "親子関係 (1対1)" --> ER["children"]
295    ER -- "親子関係 (1対1)" --> A
296    A -- "親子関係 (1対1)" --> ES["children"]
297    ES -- "親子関係 (1対1)" --> A
298    A -- "親子関係 (1対1)" --> ET["children"]
299    ET -- "親子関係 (1対1)" --> A
300    A -- "親子関係 (1対1)" --> EU["children"]
301    EU -- "親子関係 (1対1)" --> A
302    A -- "親子関係 (1対1)" --> EV["children"]
303    EV -- "親子関係 (1対1)" --> A
304    A -- "親子関係 (1対1)" --> EW["children"]
305    EW -- "親子関係 (1対1)" --> A
306    A -- "親子関係 (1対1)" --> EX["children"]
307    EX -- "親子関係 (1対1)" --> A
308    A -- "親子関係 (1対1)" --> EY["children"]
309    EY -- "親子関係 (1対1)" --> A
310    A -- "親子関係 (1対1)" --> EZ["children"]
311    EZ -- "親子関係 (1対1)" --> A
312    A -- "親子関係 (1対1)" --> FA["children"]
313    FA -- "親子関係 (1対1)" --> A
314    A -- "親子関係 (1対1)" --> FB["children"]
315    FB -- "親子関係 (1対1)" --> A
316    A -- "親子関係 (1対1)" --> FC["children"]
317    FC -- "親子関係 (1対1)" --> A
318    A -- "親子関係 (1対1)" --> FD["children"]
319    FD -- "親子関係 (1対1)" --> A
320    A -- "親子関係 (1対1)" --> FE["children"]
321    FE -- "親子関係 (1対1)" --> A
322    A -- "親子関係 (1対1)" --> FF["children"]
323    FF -- "親子関係 (1対1)" --> A
324    A -- "親子関係 (1対1)" --> FG["children"]
325    FG -- "親子関係 (1対1)" --> A
326    A -- "親子関係 (1対1)" --> FH["children"]
327    FH -- "親子関係 (1対1)" --> A
328    A -- "親子関係 (1対1)" --> FI["children"]
329    FI -- "親子関係 (1対1)" --> A
330    A -- "親子関係 (1対1)" --> FJ["children"]
331    FJ -- "親子関係 (1対1)" --> A
332    A -- "親子関係 (1対1)" --> FK["children"]
333    FK -- "親子関係 (1対1)" --> A
334    A -- "親子関係 (1対1)" --> FL["children"]
335    FL -- "親子関係 (1対1)" --> A
336    A -- "親子関係 (1対1)" --> FM["children"]
337    FM -- "親子関係 (1対1)" --> A
338    A -- "親子関係 (1対1)" --> FN["children"]
339    FN -- "親子関係 (1対1)" --> A
340    A -- "親子関係 (1対1)" --> FO["children"]
341    FO -- "親子関係 (1対1)" --> A
342    A -- "親子関係 (1対1)" --> FP["children"]
343    FP -- "親子関係 (1対1)" --> A
344    A -- "親子関係 (1対1)" --> FQ["children"]
345    FQ -- "親子関係 (1対1)" --> A
346    A -- "親子関係 (1対1)" --> FR["children"]
347    FR -- "親子関係 (1対1)" --> A
348    A -- "親子関係 (1対1)" --> FS["children"]
349    FS -- "親子関係 (1対1)" --> A
350    A -- "親子関係 (1対1)" --> FT["children"]
351    FT -- "親子関係 (1対1)" --> A
352    A -- "親子関係 (1対1)" --> FU["children"]
353    FU -- "親子関係 (1対1)" --> A
354    A -- "親子関係 (1対1)" --> FV["children"]
355    FV -- "親子関係 (1対1)" --> A
356    A -- "親子関係 (1対1)" --> FW["children"]
357    FW -- "親子関係 (1対1)" --> A
358    A -- "親子関係 (1対1)" --> FX["children"]
359    FX -- "親子関係 (1対1)" --> A
360    A -- "親子関係 (1対1)" --> FY["children"]
361    FY -- "親子関係 (1対1)" --> A
362    A -- "親子関係 (1対1)" --> FZ["children"]
363    FZ -- "親子関係 (1対1)" --> A
364    A -- "親子関係 (1対1)" --> GA["children"]
365    GA -- "親子関係 (1対1)" --> A
366    A -- "親子関係 (1対1)" --> GB["children"]
367    GB -- "親子関係 (1対1)" --> A
368    A -- "親子関係 (1対1)" --> GC["children"]
369    GC -- "親子関係 (1対1)" --> A
370    A -- "親子関係 (1対1)" --> GD["children"]
371    GD -- "親子関係 (1対1)" --> A
372    A -- "親子関係 (1対1)" --> GE["children"]
373    GE -- "親子関係 (1対1)" --> A
374    A -- "親子関係 (1対1)" --> GF["children"]
375    GF -- "親子関係 (1対1)" --> A
376    A -- "親子関係 (1対1)" --> GG["children"]
377    GG -- "親子関係 (1対1)" --> A
378    A -- "親子関係 (1対1)" --> GH["children"]
379    GH -- "親子関係 (1対1)" --> A
380    A -- "親子関係 (1対1)" --> GI["children"]
381    GI -- "親子関係 (1対1)" --> A
382    A -- "親子関係 (1対1)" --> GJ["children"]
383    GJ -- "親子関係 (1対1)" --> A
384    A -- "親子関係 (1対1)" --> GK["children"]
385    GK -- "親子関係 (1対1)" --> A
386    A -- "親子関係 (1対1)" --> GL["children"]
387    GL -- "親子関係 (1対1)" --> A
388    A -- "親子関係 (1対1)" --> GM["children"]
389    GM -- "親子関係 (1対1)" --> A
390    A -- "親子関係 (1対1)" --> GN["children"]
391    GN -- "親子関係 (1対1)" --> A
392    A -- "親子関係 (1対1)" --> GO["children"]
393    GO -- "親子関係 (1対1)" --> A
394    A -- "親子関係 (1対1)" --> GP["children"]
395    GP -- "親子関係 (1対1)" --> A
396    A -- "親子関係 (1対1)" --> GQ["children"]
397    GQ -- "親子関係 (1対1)" --> A
398    A -- "親子関係 (1対1)" --> GR["children"]
399    GR -- "親子関係 (1対1)" --> A
400    A -- "親子関係 (1対1)" --> GS["children"]
401    GS -- "親子関係 (1対1)" --> A
402    A -- "親子関係 (1対1)" --> GT["children"]
403    GT -- "親子関係 (1対1)" --> A
404    A -- "親子関係 (1対1)" --> GU["children"]
405    GU -- "親子関係 (1対1)" --> A
406    A -- "親子関係 (1対1)" --> GV["children"]
407    GV -- "親子関係 (1対1)" --> A
408    A -- "親子関係 (1対1)" --> GW["children"]
409    GW -- "親子関係 (1対1)" --> A
410    A -- "親子関係 (1対1)" --> GX["children"]
411    GX -- "親子関係 (1対1)" --> A
412    A -- "親子関係 (1対1)" --> GY["children"]
413    GY -- "親子関係 (1対1)" --> A
414    A -- "親子関係 (1対1)" --> GZ["children"]
415    GZ -- "親子関係 (1対1)" --> A
416    A -- "親子関係 (1対1)" --> HA["children"]
417    HA -- "親子関係 (1対1)" --> A
418    A -- "親子関係 (1対1)" --> HB["children"]
419    HB -- "親子関係 (1対1)" --> A
420    A -- "親子関係 (1対1)" --> HC["children"]
421    HC -- "親子関係 (1対1)" --> A
422    A -- "親子関係 (1対1)" --> HD["children"]
423    HD -- "親子関係 (1対1)" --> A
424    A -- "親子関係 (1対1)" --> HE["children"]
425    HE -- "親子関係 (1対1)" --> A
426    A -- "親子関係 (1対1)" --> HF["children"]
427    HF -- "親子関係 (1対1)" --> A
428    A -- "親子関係 (1対1)" --> HG["children"]
429    HG -- "親子関係 (1対1)" --> A
430    A -- "親子関係 (1対1)" --> HH["children"]
431    HH -- "親子関係 (1対1)" --> A
432    A -- "親子関係 (1対1)" --> HI["children"]
433    HI -- "親子関係 (1対1)" --> A
434    A -- "親子関係 (1対1)" --> HJ["children"]
435    HJ -- "親子関係 (1対1)" --> A
436    A -- "親子関係 (1対1)" --> HK["children"]
437    HK -- "親子関係 (1対1)" --> A
438    A -- "親子関係 (1対1)" --> HL["children"]
439    HL -- "親子関係 (1対1)" --> A
440    A -- "親子関係 (1対1)" --> HM["children"]
441    HM -- "親子関係 (1対1)" --> A
442    A -- "親子関係 (1対1)" --> HN["children"]
443    HN -- "親子関係 (1対1)" --> A
444    A -- "親子関係 (1対1)" --> HO["children"]
445    HO -- "親子関係 (1対1)" --> A
446    A -- "親子関係 (1対1)" --> HP["children"]
447    HP -- "親子関係 (1対1)" --> A
448    A -- "親子関係 (1対1)" --> HQ["children"]
449    HQ -- "親子関係 (1対1)" --> A
450    A -- "親子関係 (1対1)" --> HR["children"]
451    HR -- "親子関係 (1対1)" --> A
452    A -- "親子関係 (1対1)" --> HS["children"]
453    HS -- "親子関係 (1対1)" --> A
454    A -- "親子関係 (1対1)" --> HT["children"]
455    HT -- "親子関係 (1対1)" --> A
456    A -- "親子関係 (1対1)" --> HU["children"]
457    HU -- "親子関係 (1対1)" --> A
458    A -- "親子関係 (1対1)" --> HV["children"]
459    HV -- "親子関係 (1対1)" --> A
460    A -- "親子関係 (1対1)" --> HW["children"]
461    HW -- "親子関係 (1対1)" --> A
462    A -- "親子関係 (1対1)" --> HX["children"]
463    HX -- "親子関係 (1対1)" --> A
464    A -- "親子関係 (1対1)" --> HY["children"]
465    HY -- "親子関係 (1対1)" --> A
466    A -- "親子関係 (1対1)" --> HZ["children"]
467    HZ -- "親子関係 (1対1)" --> A
468    A -- "親子関係 (1対1)" --> IA["children"]
469    IA -- "親子関係 (1対1)" --> A
470    A -- "親子関係 (1対1)" --> IB["children"]
471    IB -- "親子関係 (1対1)" --> A
472    A -- "親子関係 (1対1)" --> IC["children"]
473    IC -- "親子関係 (1対1)" --> A
474    A -- "親子関係 (1対1)" --> ID["children"]
475    ID -- "親子関係 (1対1)" --> A
476    A -- "親子関係 (1対1)" --> IE["children"]
477    IE -- "親子関係 (1対1)" --> A
478    A -- "親子関係 (1対1)" --> IF["children"]
479    IF -- "親子関係 (1対1)" --> A
480    A -- "親子関係 (1対1)" --> IG["children"]
481    IG -- "親子関係 (1対1)" --> A
482    A -- "親子関係 (1対1)" --> IH["children"]
483    IH -- "親子関係 (1対1)" --> A
484    A -- "親子関係 (1対1)" --> II["children"]
485    II -- "親子関係 (1対1)" --> A
486    A -- "親子関係 (1対1)" --> IJ["children"]
487    IJ -- "親子関係 (1対1)" --> A
488    A -- "親子関係 (1対1)" --> IK["children"]
489    IK -- "親子関係 (1対1)" --> A
490    A -- "親子関係 (1対1)" --> IL["children"]
491    IL -- "親子関係 (1対1)" --> A
492    A -- "親子関係 (1対1)" --> IM["children"]
493    IM -- "親子関係 (1対1)" --> A
494    A -- "親子関係 (1対1)" --> IN["children"]
495    IN -- "親子関係 (1対1)" --> A
496    A -- "親子関係 (1対1)" --> IO["children"]
497    IO -- "
```

● 3. 編集と紙面制作

本来、原稿執筆がすべて完了してから編集にとりかかるのが理想でしょうが、実際にはほかの作業の時間を取りたい、また、営業サイドからのプレッシャーもあるので、章ができれば、作業にとりかかります。最初に行うのは原稿のチェックやDTPサイドに渡すための整理(原稿整理)です。これにもいろいろなやり方がありますが、編集担当の場合、DTPサイドへは、テキスト(MDや適当なマークを付けたもの)、画像、写真などを別々に分け、パッケージングしてから渡します。DTPサイドは内容を知っているわけではないので、図や写真を文章のどこに入るかを明示的に示し、図や写真のファイルには一連番号(ファイル名)を付けたり、その番号をテキストの方に反映させたりします。

なお、DTPに最初の実稿を渡す段階で、紙面フォーマットができていないといけません。これはダミーデータでもいいですが、編集担当の場合、執筆途中の実稿を元に、デザイナーさんに作成して貰います(紙面サンプル)。

そして、原稿整理が終わったテキストと、イラストや図版、写真とフォーマットデータをDTPサイドに渡し、レイアウトデータを作って貰います。校正には何段階があるといいましたが、最初にできたものを初校、2回目を再校、3回目は3校(参校)といいます。時間やコストの面もあるので、概ね3校程度で修正を終え、印刷所にいれます。

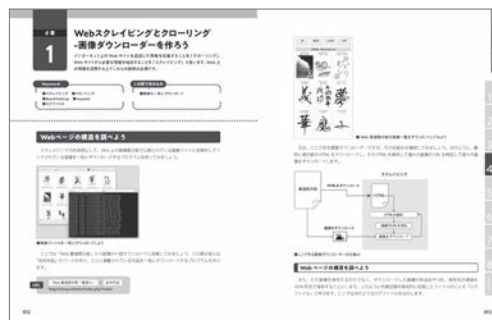
校正で重要なのは、間違いを修正することもあります。ページ数を当初の予定からあまりずらさずにゴールにもっていくこともあります。これはけっこう難しく、途中で追加原稿を頼んだり、大幅に削ることもよくあります。また、電子書籍ではあまり関係ありませんが、紙の書籍の場合、基本的には16の倍数のページ数(256ページ、320ページなど)にします。これは、印刷時に1枚の大きい紙に印刷し、それを折って書籍化するためで、テクノロジーが進んで今でも、変わっていません。16の倍数でない場合には紙を捨てているのです(校正紙の例)。

修正にはある程度時間がかかるので、その間暇になりそうですが、実際にはそうでもありません。この空いた時間で、目次やさくいん、章扉や奥付、そして表紙やカバーも作らねばなりません。書籍のタイトルなども、内容がすべて完成してから「やっぱりちょっと変えた方がいい」と思うこともけっこうあるので、終わりが近づくほど時間が足りなくなってきました。

こうしたドタバタを乗り越えたらやっと印刷所にデータをいれられます(いわゆる印刷所入稿)。

印刷所からは確認用の印刷物(プリントアウト)が出てきます。色校、白焼きなどいろいろ呼び名がありますが、ようは確認するためのものです。この段階でも修正は可能なので、直しがあがる場合には直します(ただし修正にはお金がかかります)。

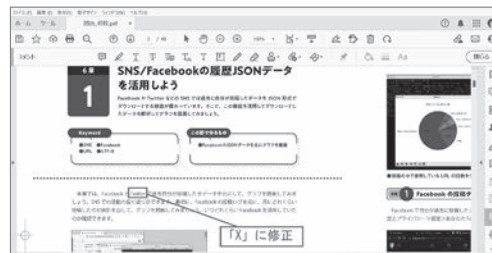
デザイナーが作ったレイアウトの見本



： 初校（PDF で来ます）



： 修正は PDF 上でやりとりする



● 4. 印刷

データの確認が終わったら「下阪（げはん）」といって、印刷に回して貰います。この先の作業もいろいろあるのですが、基本的には印刷所側でやることなので、出版社としては、待っているだけです。

印刷が終了し、本の形にしあげる「製本」作業が終わると、倉庫や取次（とりつぎ）に納品され、そこから全国の書店、アマゾンなどに送られます。印刷所に入稿してから、製品になるまではおよそ 10 日、そこから取り次ぎを経由して書店に並ぶまでは、また数日かかります（カバーの印刷所の校正＝簡易色校。※ JSON 本ではないです）。

● 5. 販売

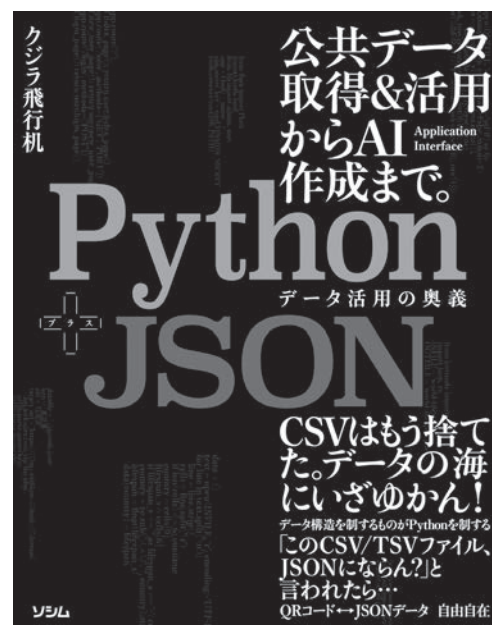
出版社は書籍を直接書店に納めるわけではなく、間にある取次（とりつぎ）という卸売業のような会社へ納品し、そこから書店に配送されます。ただし、書店への営業を行ってくれるわけではないので、出版社の営業担当が事前に注文をとったり、書店での置き場を確保したり在庫の補充の活動をおこないます。

本稿を書いているのは編集担当なので、営業に関しては詳しくありませんが、技術同人誌博覧会当日は、ソシムの営業担当者もブースにいます。もし、何かお聞きになりたいことがあればお声がけください。

● まとめ

以上、出版社における書籍の企画から販売までを紹介しました。けっこう長くなりましたが、これでもかなり端折っています。技術同人誌博覧会のソシムブースには編集担当も参加する予定なので、お気軽にお声がけください。

： できあがった書籍



CASE:2

著者：クジラ飛行機

発行：2023 年 8 月

頁数：384 頁

生成 AI・ChatGPT で Python プログラミング アウトプットを 10 倍にする！



編集担当

某 K

すきなたべ物

タンドリーイカ

企画のきっかけ

編集者という生き物は、常に「面白い話（ネタ）がないかなあ」と考えています。当然、ChatGPT の登場時には、いろいろ試しました。しかし、文章を生成するのは面白いものの、企画としては今ひとつピンとこない。思いあぐねていたときに「コードも書いてくれるよ」と SNS で見かけて、さっそくクローリングして JSON で書き出すプログラムを生成させてみました…出てきたコードを見て「これはイケる…かも!」。そこからすべてが始まりました。

企画を通すために工夫したところ

生成 AI は企画時点でトレンドでしたし、企画が承認されることにさほど問題はなかったのですが、企画の内容をどう絞るかでちょっと悩みました。

今回、入れるネタとしては、発端となった「ChatGPT にプログラムを書いてもらう」がありましたが、著者とやりとりしていく中で、「OpenAI の API も面白い」、「大規模言語モデル(LLM) も作りたい」などのアイデアが出て、全部入れた方がいいのか、それともひとつに絞るのかで判断にまよったのです。

売り上げをあまり気にしなくていいのであれば、「好きな方を出す」ということになりますが、営利事業ですから、出す以上利益の最大化を図ります。

最終的には、「ChatGPT のプロンプトでプログラミング」を主に、OpenAI の API の使い方と LLM の構築もある程度入れ込みました。ただ入れるのではなく、プロンプトエンジニアリングの解説を通じて、生成 AI を使う上での勘所などを紹介しつつ、API や LLM のストーリーにつなげるように工夫しました。今後に生かせる企画内容になったと思っています。

完成した書籍



生成 AI の世界は日進月歩なので、発刊後に新しいサービスやアプリが続々出ています。こうした技術に対応するのが今後の課題です。

CASE:3

著者：坂下幸徳
発行：2023年8月
頁数：192頁



編集担当
onakamur

すきなたべ物
ガチ中華

基礎からの 新しいストレージ入門

企画のきっかけ

ITインフラ関連の技術書は、定本として定着するとロングで売れます。「そうした本を出せたらいいな」と考えていましたが、ネットワークやサーバなどのジャンルには、強力な競合書籍が存在します。あまり競合書籍が存在しないジャンルはないかと考えていた時に、偶然見つけたのが著者である「坂下さん」のKubernetesの記事でした。調査をしてみると、ストレージの書籍は競合が少なく、しかも近年、技術の進歩が激しい。そこで企画を出すことにしたのです。

企画を通すために工夫したところ

ストレージは、ネットワークやサーバと比較して地味であるという印象が強いため、仮想化技術とクラウドサービス、コンテナ技術とKubernetesの登場によって、近年大きく進化していること、ストレージの調達や運用が格段に容易になっていること、最新ストレージの運用管理ノウハウを解説した書籍が市場にほとんど存在しないことを説明しました。

また、ITの技術書の場合、著者の略歴を見て購入する読者も多いため、企画書においても坂下さんの略歴（SNIA（ストレージの業界団体）日本支部技術委員会副委員長、日立製作所⇒ゼットラボ）を前面に出して、この企画には新しい定本になり得るポテンシャルがあると説得しました。

ただ、企画会議で説明した時には、営業や編集のメンバーは売れるかどうかの判断が難しかったと思います。最終的には、おそらく「試しに出してみるか」くらいの気持ちで通してもらったのではないのでしょうか。

完成した書籍



きちんとしたITの技術書は口コミで売れることが多いのですが、この本もそうでした。今後もロングで売ってほしいと思います。

CASE:4

著者：富元 秀俊／大澤 龍一

発行：2023 年 4 月

頁数：496 頁

はじめての 3D モデリング Blender3 超入門



編集担当

ゆうころりん

すきなたべ物

たまごかけ
ごはん

企画のきっかけ

「Blender」は 3DCG を作成するためのアプリケーション。オープンソースのフリーウェアですが、商用アプリにも負けない機能を持っていることから、プロの現場でも使われるようになってきていました。企画当時、最新版の Ver.3.3 がリリースされたこと、そして書籍の市場においても他社類書が一定の売り上げになっていることが、企画推進のきっかけになりました。

企画を通すために工夫したところ

アニメ映画の制作実績のある富元氏と専門学校の講師である大澤氏の共著にすることにより、実際の現場で求められるスキルと座学的な知識のバランスをとりました。Blender の基本的なスキルと知識を手を動かしながら学べるため、最初の 1 冊としてふさわしい内容に仕上がっていると思います。

また、本書ではソファやクッション、椅子など、インテリアのモデリングから始めて、最後にきつねのキャラクターを作るという流れになっています。

実は、他社類書の解説では女性キャラクターのモデリングがメインになっていることが多いのですが、実際の現場でキャラをモデリングする機会は、かなり少ないそうです（著者談）。実務として Blender をよく使うのはキャラではなく背景、ということでお部屋のモデリングをメインの解説とし、仕事に繋がる Blender の本という立ち位置にして、他社類書と差別化を図りました。

紙面デザインも大きなスクショ画像をたくさん使っているので、操作に迷うことも少なく、サクサク読み進められると思います。

完成した書籍



きつねキャラが目を惹く可愛らしい表紙デザイン。約 500 ページとボリュームがあるので、読み応えもあります。